



2026年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年10月23日

上場会社名 未来工業株式会社 上場取引所 東 名
コード番号 7931 URL <https://www.mirai.co.jp/>
代表者 （役職名）取締役社長 （氏名）中島 靖
問合せ先責任者 （役職名）取締役総合企画部長 （氏名）吉澤 信幸 TEL 0584-68-1200
半期報告書提出予定日 2025年10月31日 配当支払開始予定日 2025年11月26日
決算補足説明資料作成の有無： 有
決算説明会開催の有無： 有

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年3月21日～2025年9月20日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期中間期	22,946	2.6	3,159	△8.9	3,252	△8.2	2,195	△8.5
2025年3月期中間期	22,363	3.1	3,468	6.6	3,544	6.6	2,398	6.4

（注）包括利益 2026年3月期中間期 2,231百万円（△7.9％） 2025年3月期中間期 2,423百万円（△5.5％）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期中間期	135.95	—
2025年3月期中間期	148.73	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期中間期	67,034	53,949	79.3
2025年3月期	66,549	53,414	79.2

（参考）自己資本 2026年3月期中間期 53,176百万円 2025年3月期 52,685百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	50.00	—	100.00	150.00
2026年3月期	—	50.00			
2026年3月期（予想）			—	80.00	130.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年3月21日～2026年3月20日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	46,914	4.0	6,149	△10.8	6,283	△11.1	4,241	△12.2	262.77

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更： 無

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無

② ①以外の会計方針の変更： 無

③ 会計上の見積りの変更： 無

④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期中間期	25,607,086株	2025年3月期	25,607,086株
② 期末自己株式数	2026年3月期中間期	9,451,261株	2025年3月期	9,464,187株
③ 期中平均株式数（中間期）	2026年3月期中間期	16,149,260株	2025年3月期中間期	16,124,213株

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
中間連結損益計算書	6
中間連結包括利益計算書	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等の注記)	9
3. 補足情報	11
2026年3月期 第2四半期(中間期) 決算補足説明資料	11

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間における我が国の経済は、雇用・所得環境に改善が続くなか緩やかな回復傾向で推移いたしました。しかしながら、米国の通商政策等による景気の下振れリスクが高まる等、先行きは不透明な状況で推移しております。

当社グループの事業関連である建築業界では、新設住宅着工戸数は4月に施行された建築基準法改正による駆け込み着工からの反動により大幅な減少が続いております。また、非住宅建築物の着工状況につきましては、前年同期に比べ棟数及び床面積が減少する等、厳しい状況で推移しております。

このような状況のもと、当社グループは継続的な新製品の市場投入に加え、活発な営業活動を展開してまいりました。当中間連結会計期間におきましては、電材及び管材の一部製品価格改定に加え配線器具の価格改定が浸透したこと等により、売上高は22,946百万円と前年同期に比べ583百万円(2.6%)の増収となり、中間期の売上高としては過去最高額を更新いたしました。利益につきましては、増収効果があったものの原材料単価の上昇が収益を圧迫したことにより、営業利益は3,159百万円と前年同期に比べ309百万円(8.9%)の減益、経常利益は3,252百万円と前年同期に比べ291百万円(8.2%)の減益、親会社株主に帰属する中間純利益は2,195百万円と前年同期に比べ202百万円(8.5%)の減益となりました。

セグメントの業績は次の通りであります。

(電材及び管材)

電材及び管材につきましては、建築工事現場において技能労働者の不足が叫ばれるなか、作業の省力化を目指した製品づくりとともに、さまざまな現場に適した多種多様な製品展開を進めることにより、業界の支持を得ております。

電材では、施工性に優れた合成樹脂製可とう電線管「ミラフレキシS」等が堅調に推移したことに加え、耐候性に優れた合成樹脂製可とう電線管「ミラフレキシMF」等が増加したことや一部製品の価格改定を実施したこと等より、電線管類及び附属品が増加した結果、売上高が17,559百万円と前年同期に比べ201百万円(1.2%)の増収となりました。営業利益は増収効果があったものの原材料単価の上昇が収益を圧迫したことにより2,797百万円と前年同期に比べ531百万円(16.0%)の減益となりました。

(配線器具)

配線器具につきましては、電材ルートへの活発な営業活動により、デザインを一新した「J・ワイドスリムスクエア」等の配線器具が堅調に推移したことや価格改定が浸透したことによる効果等により、売上高が3,875百万円と前年同期に比べ361百万円(10.3%)の増収となりました。営業利益は減価償却費や人件費の増加等があったものの価格改定等による効果により399百万円と前年同期に比べ132百万円(49.5%)の増益となりました。

(その他)

その他につきましては、「省力化機械及び樹脂成形用金型」が減少したものの電気通信の「ミライレンタルサーバ」等が堅調に推移した結果、売上高が1,511百万円と前年同期に比べ20百万円(1.3%)の増収となりました。営業利益は電気通信の「ケーブルテレビ」のコスト削減効果等により378百万円と前年同期に比べ96百万円(34.3%)の増益となりました。

(2) 当中間期の財政状態の概況

(資産)

当中間連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて485百万円増加し、67,034百万円となりました。その主な要因は、現金及び預金が131百万円増加、受取手形、売掛金及び契約資産が98百万円増加、電子記録債権が207百万円減少、流動資産のその他が62百万円増加、有形固定資産が304百万円増加したことによるものであります。

(負債)

負債は、前連結会計年度末に比べて50百万円減少し、13,085百万円となりました。その主な要因は、支払手形及び買掛金が195百万円増加、電子記録債務が222百万円減少、短期借入金が45百万円増加、1年以内返済予定の長期借入金78百万円増加、未払法人税等が86百万円減少、流動負債のその他が118百万円減少、固定負債のその他が45百万円増加したことによるものであります。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べて535百万円増加し、53,949百万円となりました。その主な要因は、利益剰余金が474百万円増加したことによるものであります。

(キャッシュ・フローの状況)

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ101百万円減少し、19,372百万円となりました。

当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、以下の通りであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は3,326百万円と前年同期に比べ72百万円の減少となりました。これは主に、税金等調整前中間純利益が3,252百万円と前年同期に比べ291百万円減少(資金減)、減価償却費が1,125百万円と前年同期に比べ127百万円増加(資金増)、売上債権及び契約資産の増減額が前年同期は35百万円の増加であったものが、当中間期は109百万円の減少となり、その差額144百万円資金増、棚卸資産の増減額が前年同期は131百万円の減少であったものが、当中間期は43百万円の増加となり、その差額174百万円資金減、仕入債務の増減額が前年同期は175百万円の増加であったものが、当中間期は26百万円の減少となり、その差額201百万円資金減、未払消費税等の減少額が22百万円と前年同期に比べ227百万円減少(資金増)、法人税等の支払額が1,082百万円と前年同期に比べ556百万円減少(資金増)、営業活動によるキャッシュ・フローのその他が前年同期は417百万円であったものが、当中間期は△26百万円となり、その差額443百万円資金減したことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は1,879百万円と前年同期に比べ491百万円の増加となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出が1,629百万円と前年同期に比べ360百万円増加(資金減)したことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は1,548百万円と前年同期に比べ8百万円の減少となりました。これは主に、短期借入金の純増加額が45百万円と前年同期に比べ30百万円増加(資金増)、長期借入による収入が200百万円と前年同期に比べ50百万円減少(資金減)、長期借入金の返済による支出が155百万円と前年同期に比べ20百万円減少(資金増)、社債の償還による支出が100百万円と前年同期に比べ15百万円減少(資金増)、財務活動によるキャッシュ・フローのその他が11百万円と前年同期に比べ7百万円増加(資金減)したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年4月24日に公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位: 百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月20日)	当中間連結会計期間 (2025年9月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	21,102	21,234
受取手形、売掛金及び契約資産	6,880	6,979
電子記録債権	5,329	5,121
商品及び製品	4,849	4,834
原材料及び貯蔵品	1,693	1,752
有価証券	1,499	1,525
その他	1,123	1,186
貸倒引当金	△2	△2
流動資産合計	42,478	42,632
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,155	5,169
機械装置及び運搬具(純額)	3,219	3,269
土地	4,617	4,617
建設仮勘定	814	985
その他(純額)	908	979
有形固定資産合計	14,716	15,020
無形固定資産	189	184
投資その他の資産		
投資有価証券	1,774	1,805
繰延税金資産	1,043	1,031
退職給付に係る資産	1,968	1,974
長期預金	4,000	4,000
その他	482	488
貸倒引当金	△102	△102
投資その他の資産合計	9,166	9,197
固定資産合計	24,071	24,402
資産合計	66,549	67,034
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,859	3,055
電子記録債務	1,871	1,649
短期借入金	40	85
1年内返済予定の長期借入金	124	202
未払法人税等	1,192	1,105
その他	4,425	4,307
流動負債合計	10,512	10,404
固定負債		
長期借入金	81	48
再評価に係る繰延税金負債	60	62
株式付与引当金	1,209	1,224
役員株式付与引当金	57	75
役員退職慰労引当金	110	111
退職給付に係る負債	657	668
その他	443	489
固定負債合計	2,622	2,680
負債合計	13,135	13,085

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月20日)	当中間連結会計期間 (2025年9月20日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,067	7,067
資本剰余金	9,904	9,904
利益剰余金	54,691	55,165
自己株式	△19,805	△19,780
株主資本合計	51,857	52,356
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	651	692
土地再評価差額金	△600	△602
退職給付に係る調整累計額	776	729
その他の包括利益累計額合計	827	819
非支配株主持分	728	773
純資産合計	53,414	53,949
負債純資産合計	66,549	67,034

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
(中間連結損益計算書)

(単位: 百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年3月21日 至 2024年9月20日)	当中間連結会計期間 (自 2025年3月21日 至 2025年9月20日)
売上高	22,363	22,946
売上原価	13,466	14,211
売上総利益	8,896	8,734
販売費及び一般管理費		
運賃	1,143	1,200
貸倒引当金繰入額	0	0
役員報酬	139	156
給料及び手当	1,890	1,937
退職給付費用	54	51
株式付与引当金繰入額	13	12
役員株式付与引当金繰入額	16	18
役員退職慰労引当金繰入額	6	6
その他	2,163	2,192
販売費及び一般管理費合計	5,427	5,575
営業利益	3,468	3,159
営業外収益		
受取利息	7	12
受取配当金	36	38
保険事務手数料	2	2
作業くず売却益	11	6
受取手数料	14	12
その他	29	35
営業外収益合計	102	107
営業外費用		
支払利息	2	4
社債発行費	5	5
その他	19	5
営業外費用合計	27	14
経常利益	3,544	3,252
特別利益		
補助金収入	—	53
特別利益合計	—	53
特別損失		
固定資産圧縮損	—	53
特別損失合計	—	53
税金等調整前中間純利益	3,544	3,252
法人税、住民税及び事業税	1,124	1,010
法人税等調整額	△9	1
法人税等合計	1,114	1,012
中間純利益	2,430	2,239
非支配株主に帰属する中間純利益	31	44
親会社株主に帰属する中間純利益	2,398	2,195

(中間連結包括利益計算書)

(単位: 百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年3月21日 至 2024年9月20日)	当中間連結会計期間 (自 2025年3月21日 至 2025年9月20日)
中間純利益	2,430	2,239
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	29	40
土地再評価差額金	—	△1
退職給付に係る調整額	△35	△47
その他の包括利益合計	△6	△8
中間包括利益	2,423	2,231
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	2,391	2,187
非支配株主に係る中間包括利益	31	44

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年3月21日 至 2024年9月20日)	当中間連結会計期間 (自 2025年3月21日 至 2025年9月20日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	3,544	3,252
減価償却費	998	1,125
補助金収入	—	△53
固定資産圧縮損	—	53
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△0	0
株式付与引当金の増減額(△は減少)	13	14
役員株式付与引当金の増減額(△は減少)	16	18
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	6	0
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△1	2
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	△48	△55
受取利息及び受取配当金	△44	△51
支払利息	2	4
売上債権及び契約資産の増減額(△は増加)	△35	109
棚卸資産の増減額(△は増加)	131	△43
仕入債務の増減額(△は減少)	175	△26
未払消費税等の増減額(△は減少)	△249	△22
その他	417	△26
小計	4,926	4,303
利息及び配当金の受取額	44	50
利息の支払額	△2	△4
法人税等の支払額	△1,639	△1,082
補助金の受取額	69	58
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,398	3,326
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△199	△369
定期預金の払戻による収入	128	136
有形固定資産の取得による支出	△1,268	△1,629
有形固定資産の売却による収入	1	0
その他	△49	△17
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,387	△1,879
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	15	45
長期借入れによる収入	250	200
長期借入金の返済による支出	△175	△155
社債の発行による収入	194	194
社債の償還による支出	△115	△100
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△1,721	△1,721
その他	△3	△11
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,556	△1,548
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	454	△101
現金及び現金同等物の期首残高	18,133	19,474
現金及び現金同等物の中間期末残高	18,587	19,372

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間(自 2024年3月21日 至 2024年9月20日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	電材及び 管材	配線器具	計		
売上高					
外部顧客への売上高	17,357	3,514	20,871	1,491	22,363
セグメント間の内部 売上高又は振替高	121	0	121	2,399	2,520
計	17,479	3,514	20,993	3,890	24,883
セグメント利益	3,329	267	3,596	281	3,877

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、省力化機械及び樹脂成形用金型事業、電気通信事業、ケーブルテレビ事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と中間連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位: 百万円)

利益	金額
報告セグメント計	3,596
「その他」の区分の利益	281
セグメント間取引消去	22
全社費用(注)	△378
棚卸資産の調整額	2
有形固定資産の調整額	△54
無形固定資産の調整額	△0
中間連結損益計算書の営業利益	3,468

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

Ⅱ 当中間連結会計期間(自 2025年3月21日 至 2025年9月20日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	電材及び 管材	配線器具	計		
売上高					
外部顧客への売上高	17,559	3,875	21,435	1,511	22,946
セグメント間の内部 売上高又は振替高	123	0	124	2,520	2,644
計	17,682	3,876	21,559	4,031	25,590
セグメント利益	2,797	399	3,196	378	3,574

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、省力化機械及び樹脂成形用金型事業、電気通信事業、ケーブルテレビ事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と中間連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位: 百万円)

利益	金額
報告セグメント計	3,196
「その他」の区分の利益	378
セグメント間取引消去	15
全社費用(注)	△389
棚卸資産の調整額	△2
有形固定資産の調整額	△39
無形固定資産の調整額	0
中間連結損益計算書の営業利益	3,159

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 補足情報

2026年3月期 第2四半期(中間期) 決算補足説明資料

1. 業績と今期予想(連結)

科目	2024年3月期		2025年3月期		2025年3月期 中間期		2026年3月期 中間期		2026年3月期予想	
	金額	前期比	金額	前期比	金額	前期比	金額	前期比	金額	前期比
売上高	百万円 44,091	% 11.4	百万円 45,113	% 2.3	百万円 22,363	% 3.1	百万円 22,946	% 2.6	百万円 46,914	% 4.0
営業利益	7,332	81.3	6,897	△5.9	3,468	6.6	3,159	△8.9	6,149	△10.8
経常利益	7,477	80.1	7,067	△5.5	3,544	6.6	3,252	△8.2	6,283	△11.1
親会社株主に帰属する当期(中間)純利益	5,116	86.6	4,833	△5.5	2,398	6.4	2,195	△8.5	4,241	△12.2
1株当たり当期(中間)純利益	304.53円		299.64円		148.73円		135.95円		262.77円	

5期連続の増収、営業利益及び経常利益並びに親会社株主に帰属する中間純利益は3期ぶりの減益であります。

2. セグメント別の実績と予想(連結)

売上高

セグメント	2024年3月期		2025年3月期		2025年3月期 中間期		2026年3月期 中間期		2026年3月期予想	
	金額	前期比	金額	前期比	金額	前期比	金額	前期比	金額	前期比
電材及び管材	百万円 34,120	% 13.2	百万円 34,784	% 1.9	百万円 17,357	% 2.6	百万円 17,559	% 1.2	百万円 35,883	% 3.2
配線器具	6,827	5.8	7,329	7.4	3,514	7.9	3,875	10.3	7,636	4.2
その他	3,143	5.8	2,999	△4.6	1,491	△1.5	1,511	1.3	3,393	13.1
売上高	44,091	11.4	45,113	2.3	22,363	3.1	22,946	2.6	46,914	4.0

営業利益

セグメント	2024年3月期		2025年3月期		2025年3月期 中間期		2026年3月期 中間期		2026年3月期予想	
	金額	前期比	金額	前期比	金額	前期比	金額	前期比	金額	前期比
電材及び管材	百万円 6,838	% 89.3	百万円 6,400	% △6.4	百万円 3,329	% 5.4	百万円 2,797	% △16.0	百万円 5,628	% △12.1
配線器具	473	10.3	698	47.6	267	184.0	399	49.5	576	△17.5
その他	706	24.8	571	△19.2	281	△17.0	378	34.3	545	△4.5
調整額	△685	21.5	△772	12.7	△409	21.2	△415	1.6	△600	△22.3
営業利益	7,332	81.3	6,897	△5.9	3,468	6.6	3,159	△8.9	6,149	△10.8

減価償却費

セグメント	2024年3月期		2025年3月期		2025年3月期 中間期		2026年3月期 中間期		2026年3月期予想	
	金額	前期比	金額	前期比	金額	前期比	金額	前期比	金額	前期比
電材及び管材	百万円 1,771	% 3.7	百万円 1,769	% △0.1	百万円 777	% △0.7	百万円 849	% 9.4	百万円 2,056	% 16.2
配線器具	278	△22.2	314	12.8	118	4.6	178	50.1	417	32.9
その他	273	9.1	376	37.4	173	65.1	175	1.3	396	5.4
調整額	△174	9.3	△173	△0.8	△71	△1.4	△78	9.8	△170	△2.0
減価償却費	2,149	△0.4	2,287	6.4	998	7.5	1,125	12.8	2,700	18.1

設備投資額

期別 セグメント	2024年3月期		2025年3月期		2025年3月期 中間期		2026年3月期 中間期		2026年3月期予想	
	金額	前期比	金額	前期比	金額	前期比	金額	前期比	金額	前期比
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
電材及び管材	2,161	67.1	2,396	10.9	1,065	△0.1	1,157	8.6	1,863	△22.2
配線器具	251	12.2	455	80.9	141	75.9	184	30.1	335	△26.4
その他	761	189.6	356	△53.1	136	△59.2	222	63.2	436	22.4
調整額	△255	61.0	△299	17.0	△147	14.6	△154	4.4	△160	△46.5
設備投資	2,918	80.0	2,909	△0.3	1,196	△11.5	1,410	17.9	2,475	△14.9

以 上